第20回管理型処分場環境安全委員会

資料2−1

特定廃棄物埋立処分施設の環境モニタリング調査結果

（令和７年度）

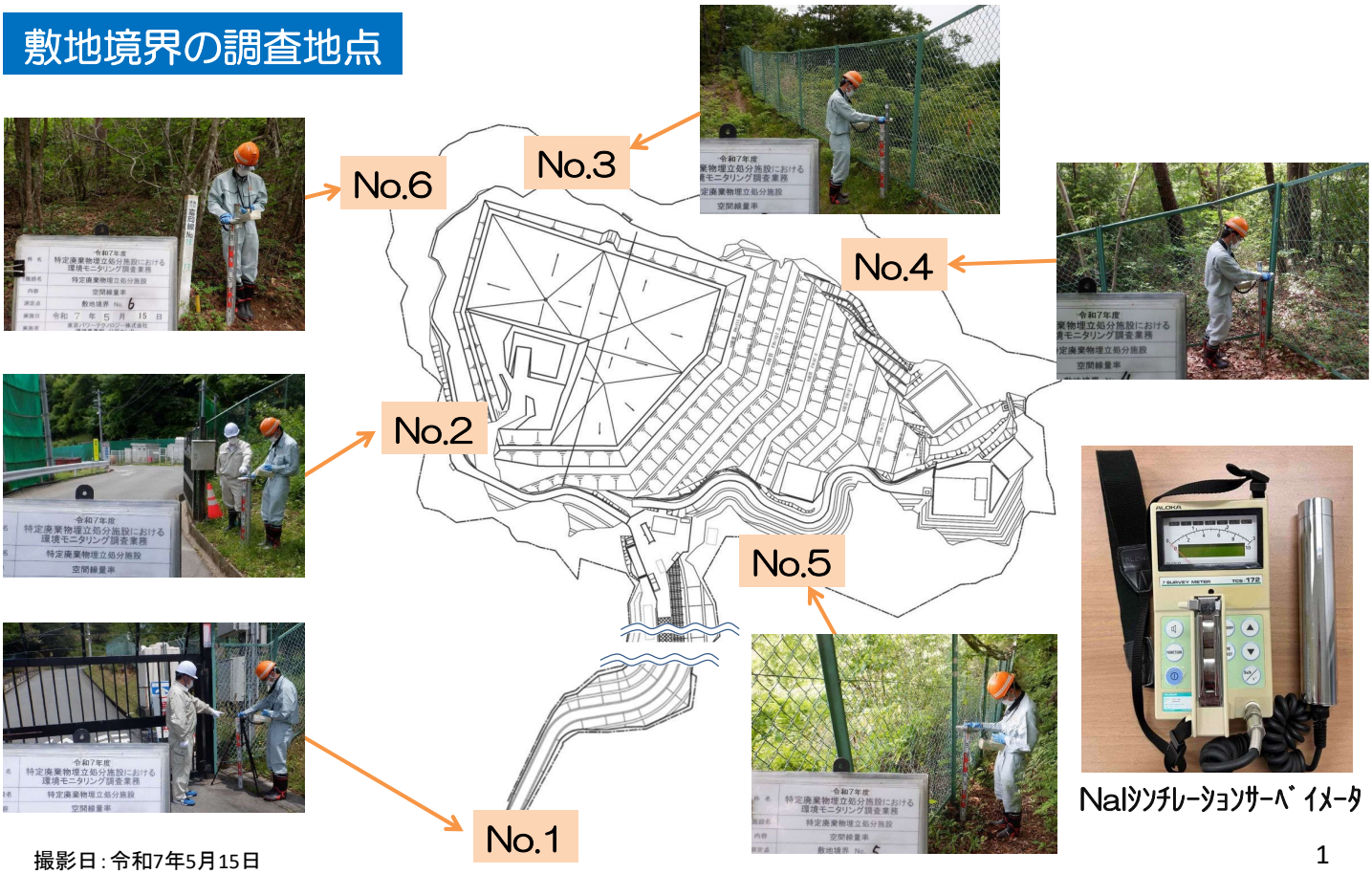
令和８年10月

環境省　福島環境局

空間線量率

参考資料１ p.3,4

敷地境界の調査地点



Nalｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀ

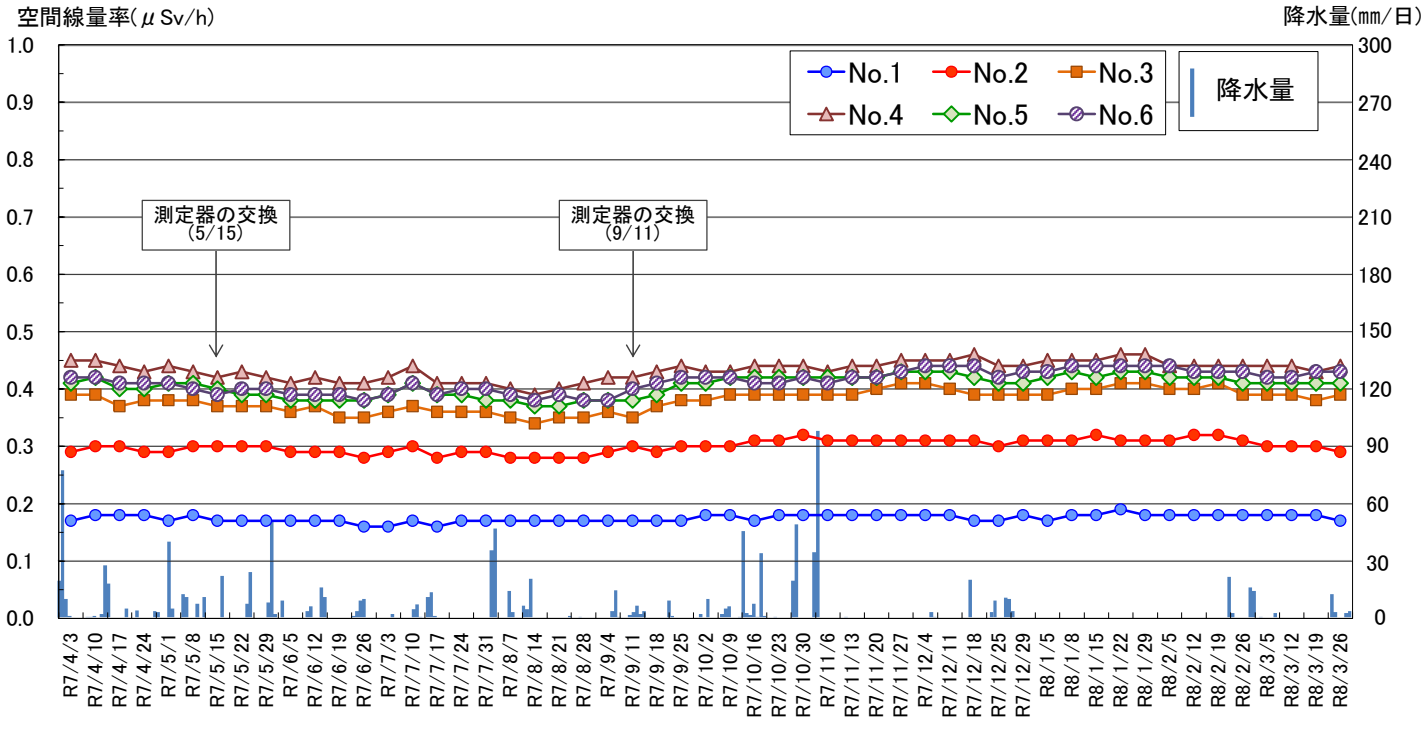
撮影日：令和7年5月15日

空間線量率

参考資料１ p.5

敷地境界の調査結果

・令和７年度の調査結果は、いずれの地点も、ほぼ横ばいの傾向で推移した。



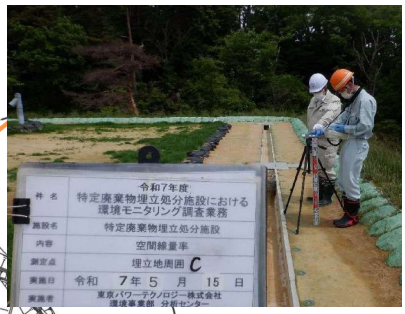
空間線量率

参考資料１ p.3,4

埋立地周囲の調査地点











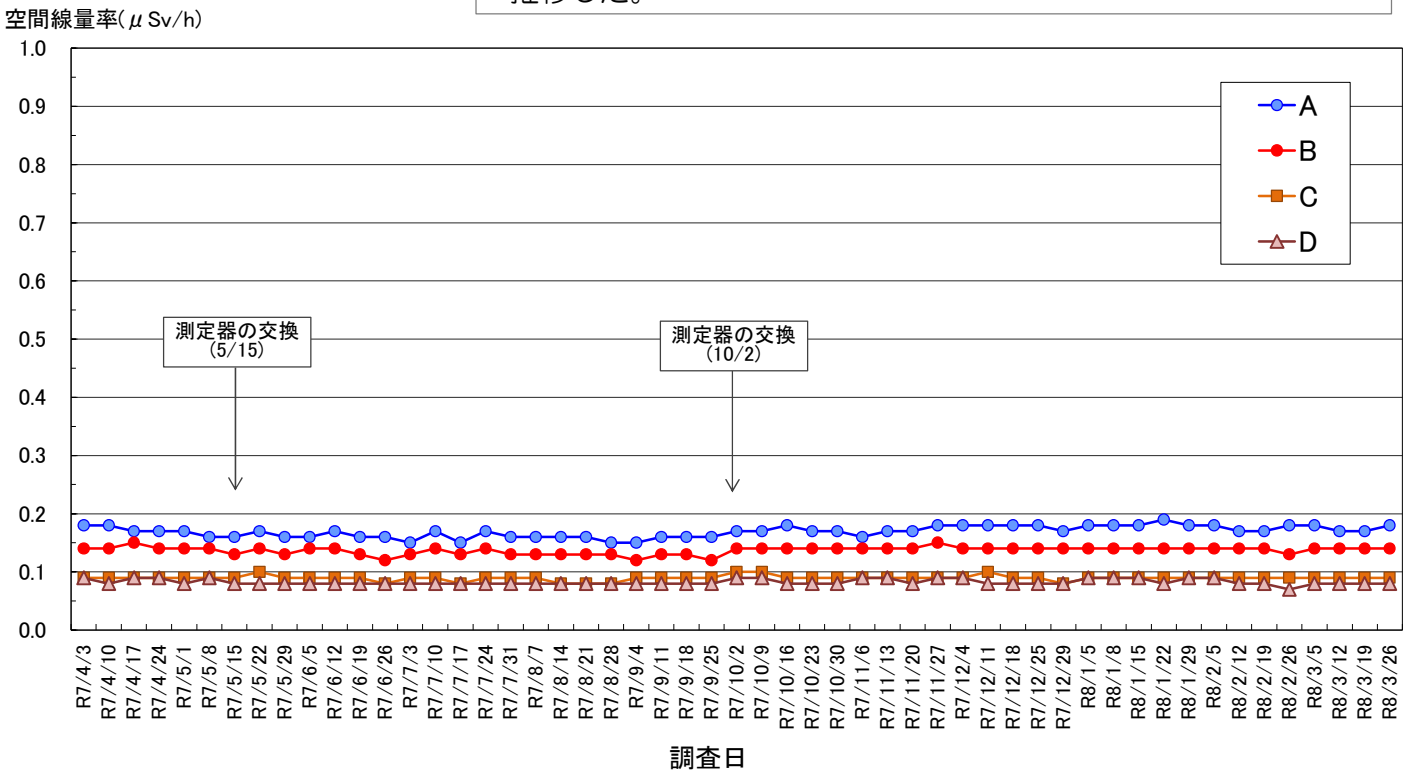
撮影日：令和7年5月15日

空間線量率

参考資料１ p.6

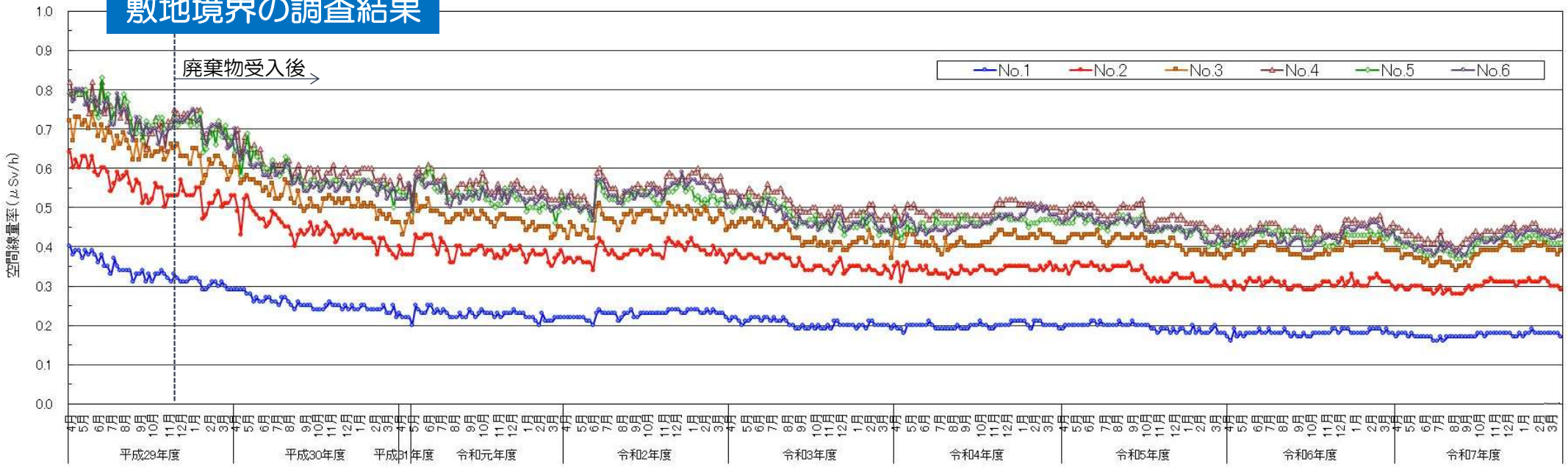
埋立地周囲の調査結果

・令和７年度の調査結果は、いずれの地点も、ほぼ横ばい傾向で推移した。

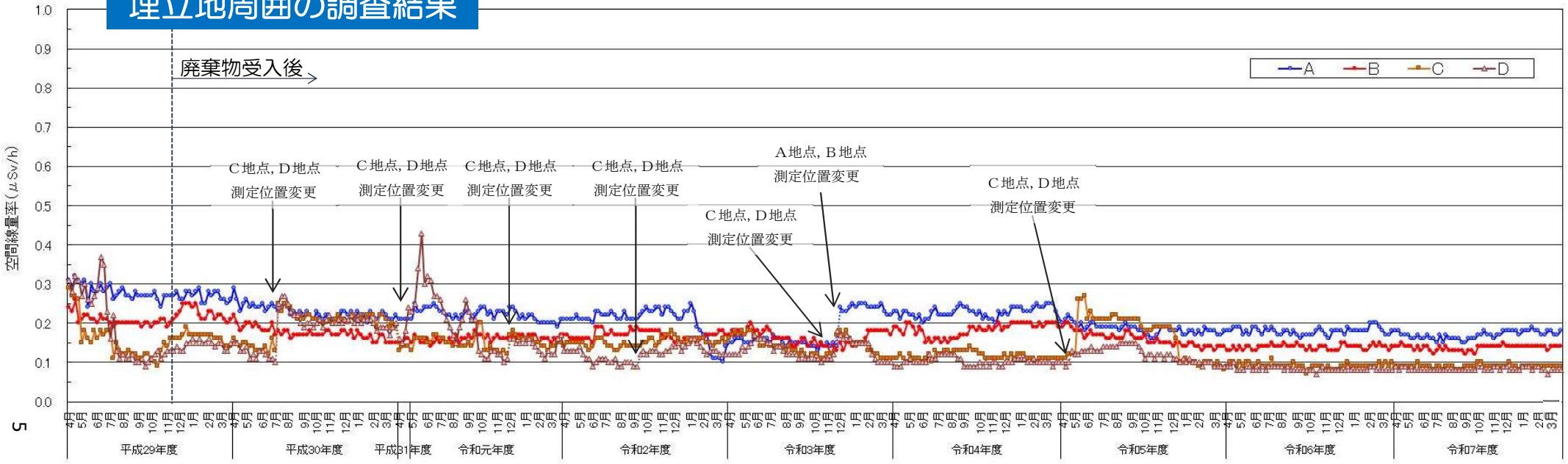


【参考】空間線量率（平成29年4月～令和８年３月の調査結果）

敷地境界の調査結果



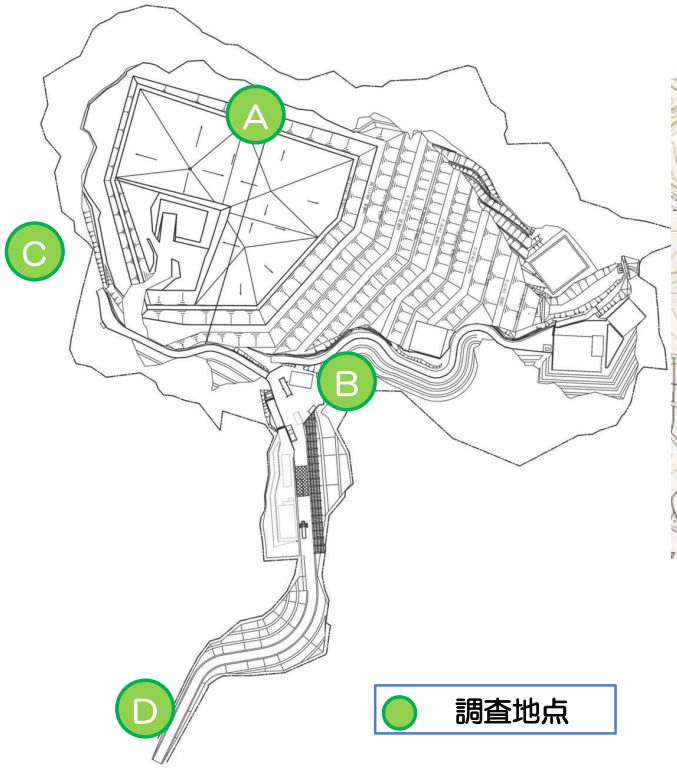
埋立地周囲の調査結果



施設の場内等における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.7,8

調査地点



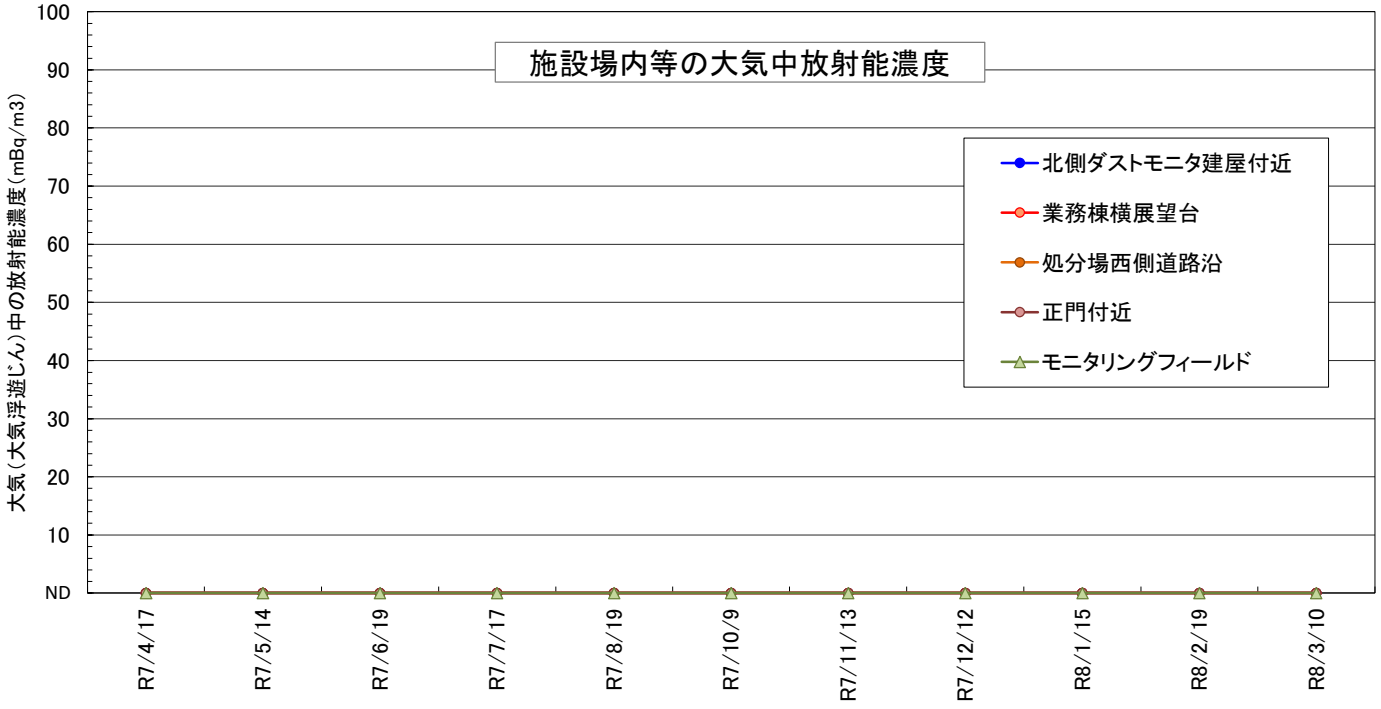


施設の場内等における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.9

調査結果

- 令和７年度の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- 調査開始（平成29年度）以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。

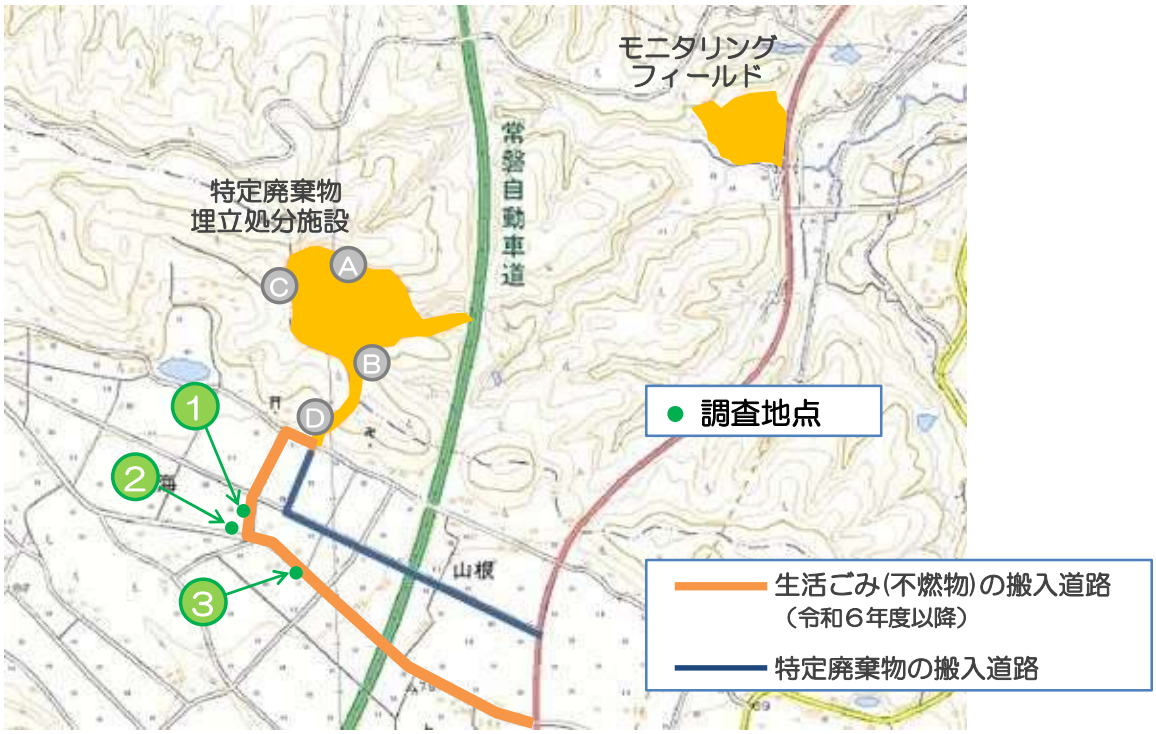


（注）ND：5mBq/m³未満

搬入道路沿道における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.10

調査地点

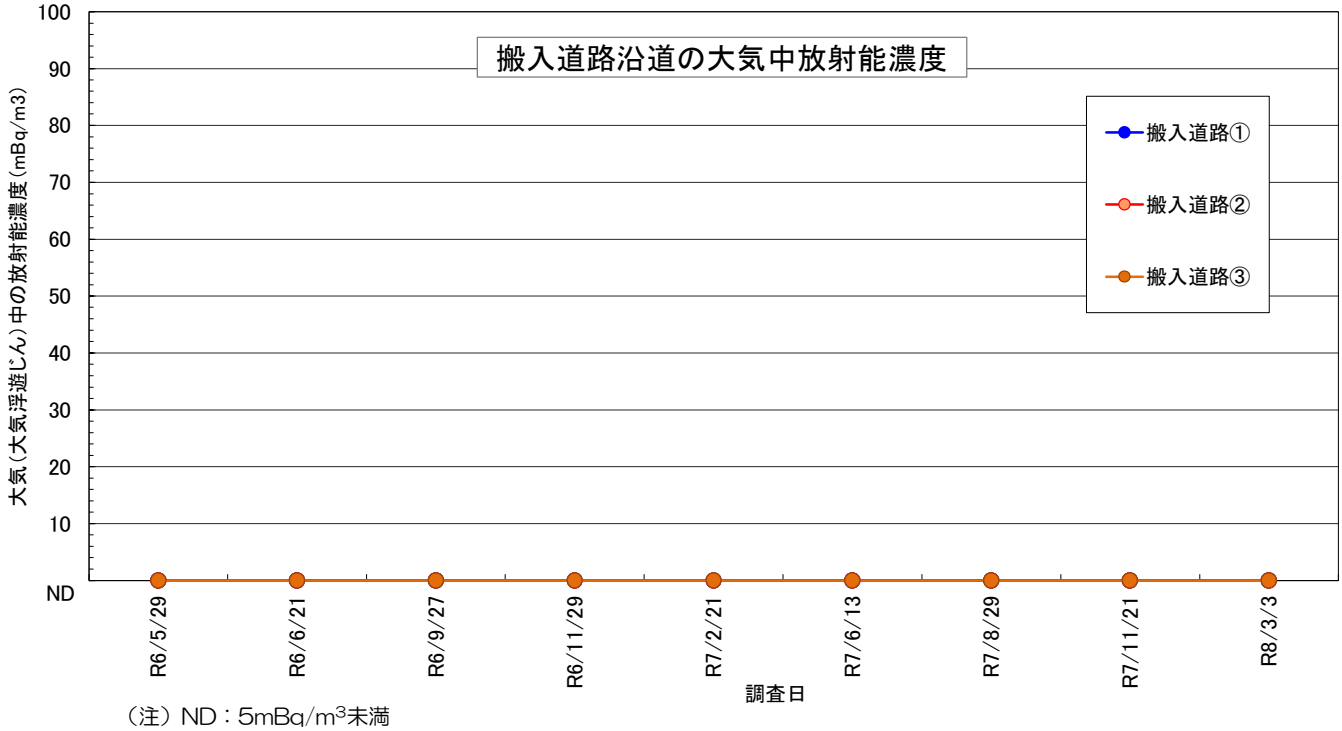


搬入道路沿道における大気（大気浮遊じん）中の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.11

調査結果

- 令和７年度の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- 調査開始（令和６年度）以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。

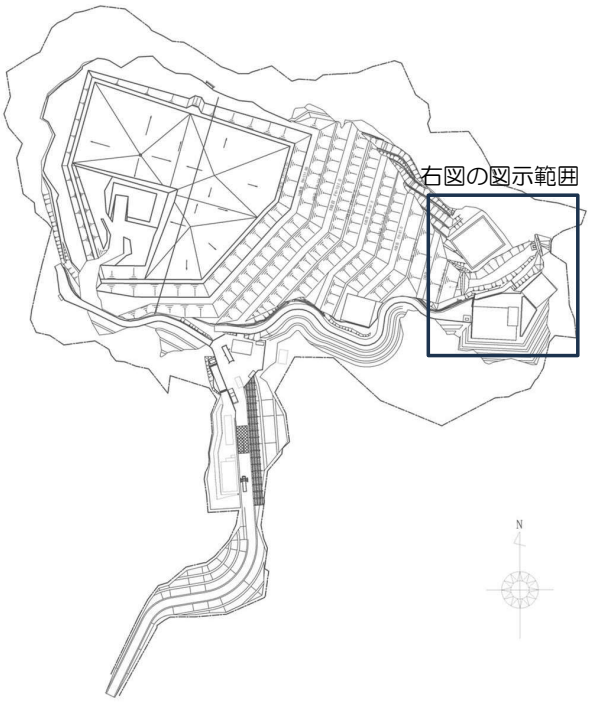


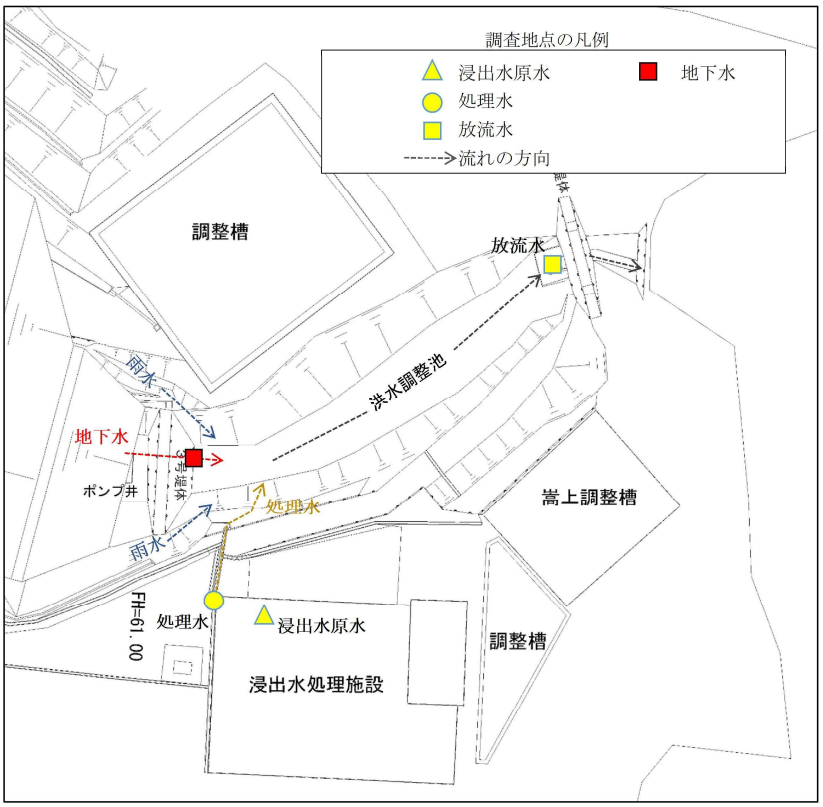
（注）ND：5mBq/m^{3}未満

浸出水原水、処理水、放流水及び地下水の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.12,17

調査地点



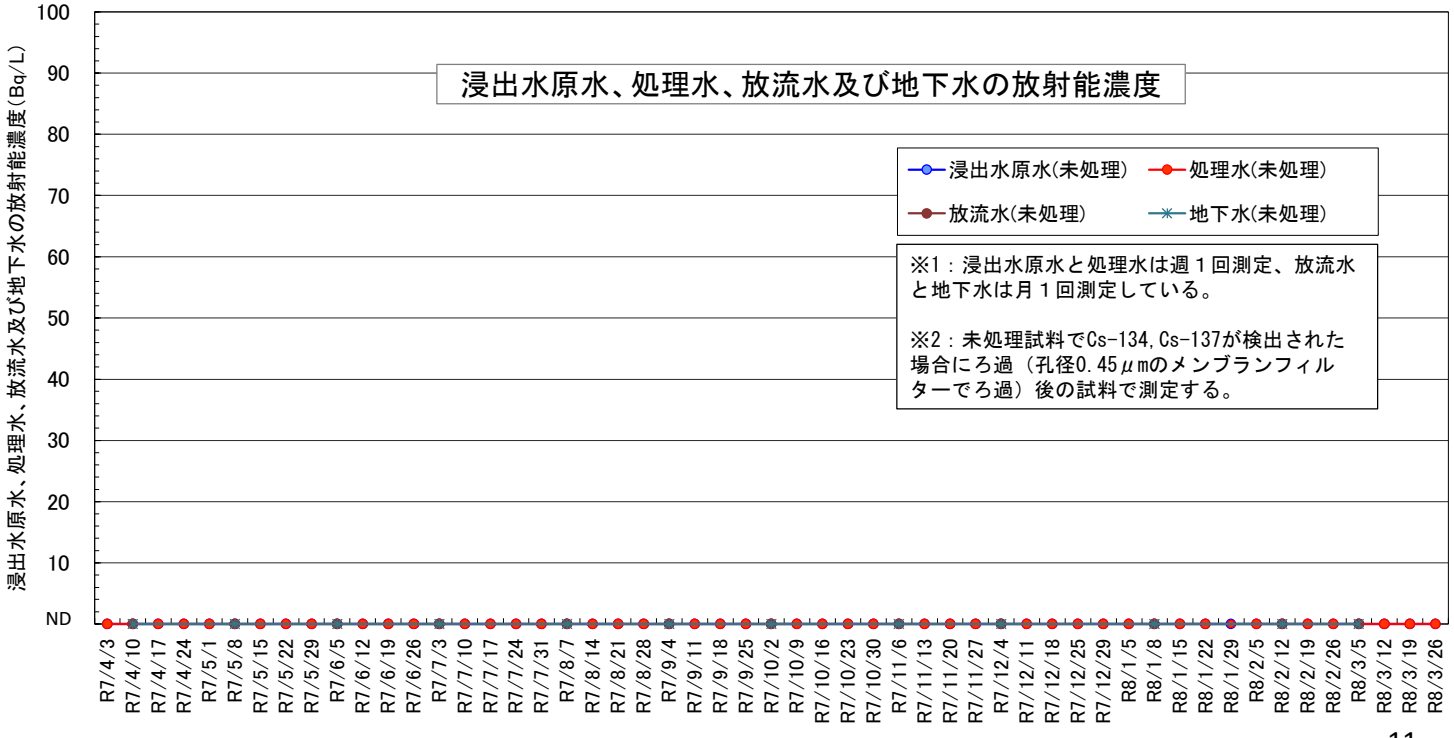


浸出水原水、処理水、放流水及び地下水の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.14,21

調査結果

・令和７年度の調査結果は、浸出水原水、処理水、放流水及び地下水のいずれの試料（未処理試料）も全てNDであった。



（注）ND：1Bq/ℓ未満

河川水の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.36

調査地点



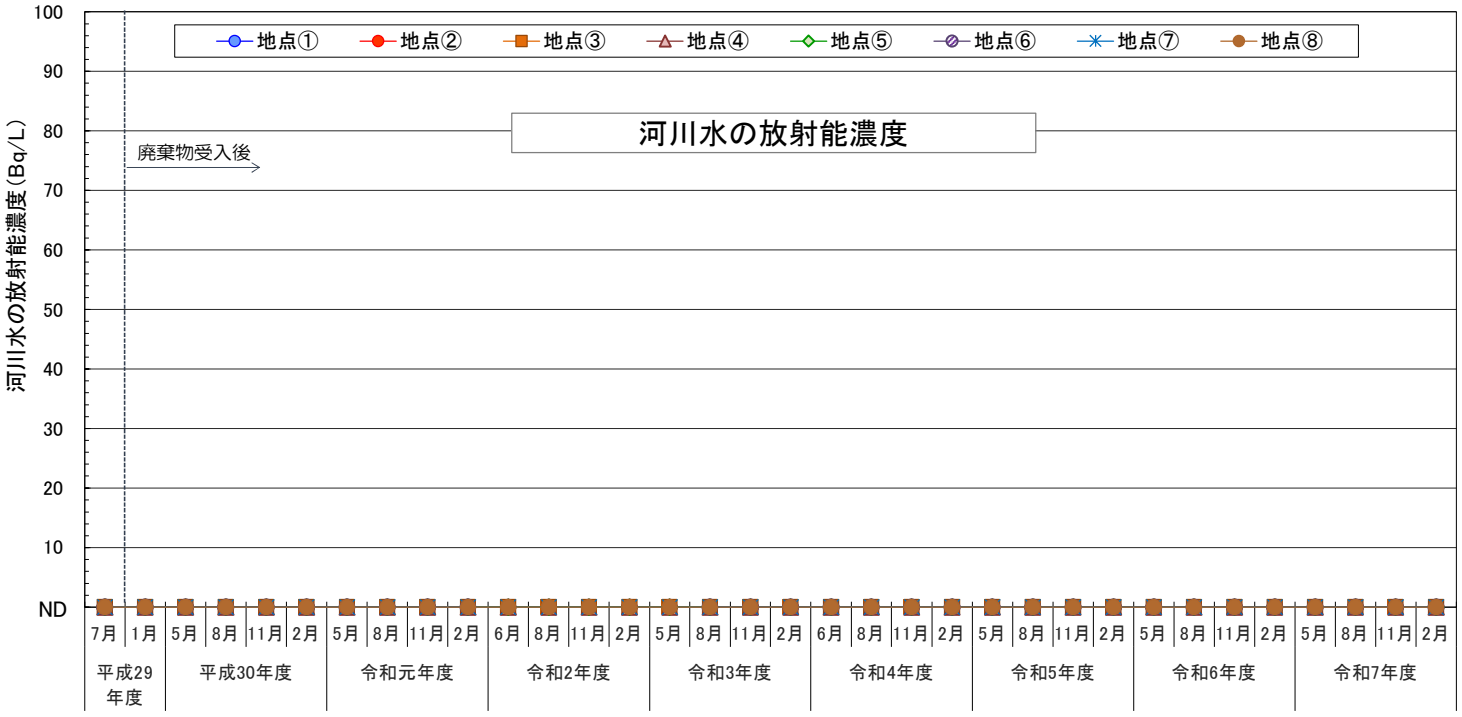
（注）地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、
令和3年8月から調査を再開した。

河川水の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.42,43

調査結果

- 令和７年度の調査結果は、いずれの地点も全てNDであった。
- 調査開始以降の調査結果は、いずれの地点も全てNDである。

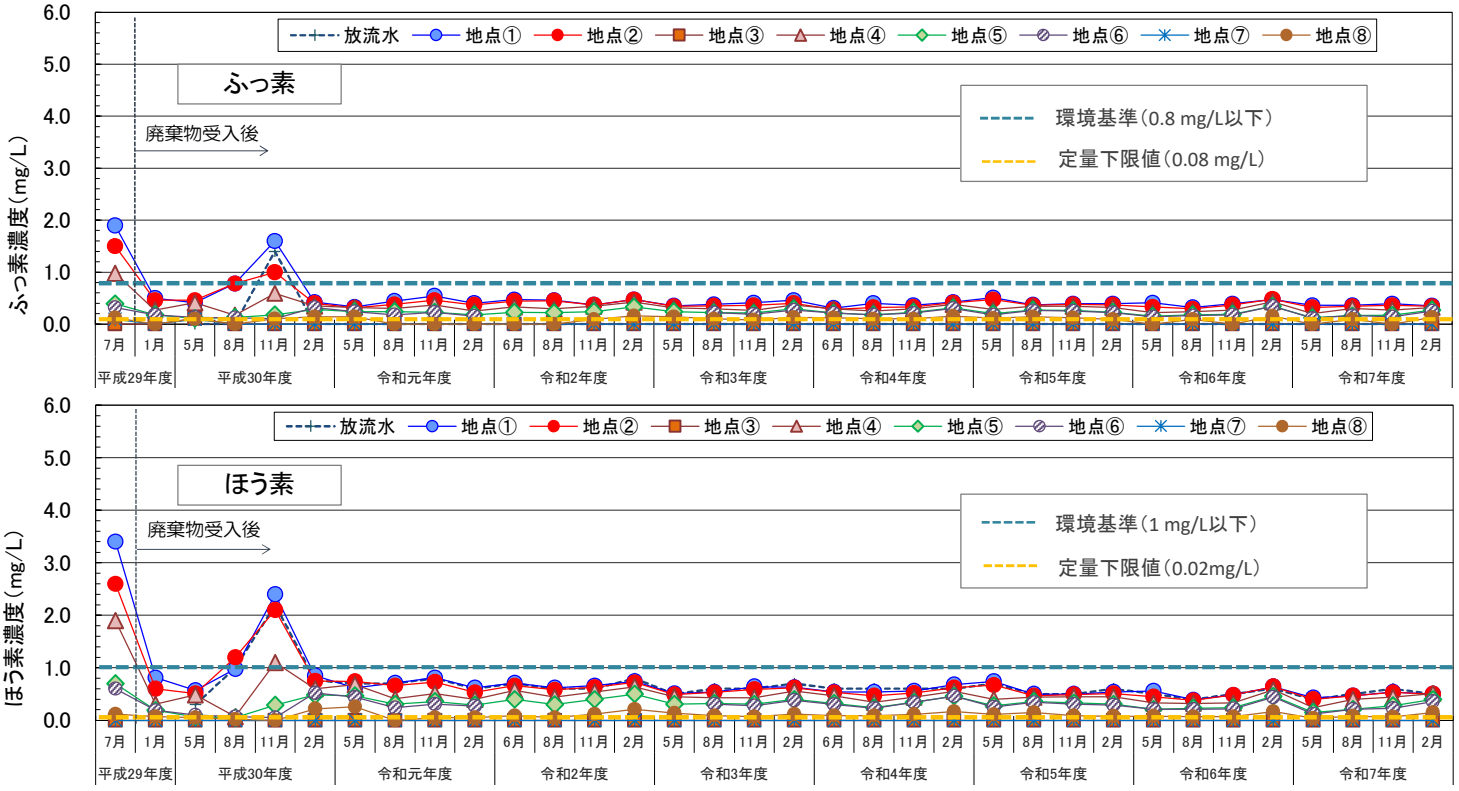


（注）ND：1Bq/L未満
地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、
令和3年8月から調査を再開した。

河川水のふっ素・ほう素濃度

参考資料１ p.38～41

・令和７年度の調査結果では、ふっ素・ほう素ともに環境基準の超過はなかった。



14

（注）地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

（余白）

河川底質の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.36

調査地点



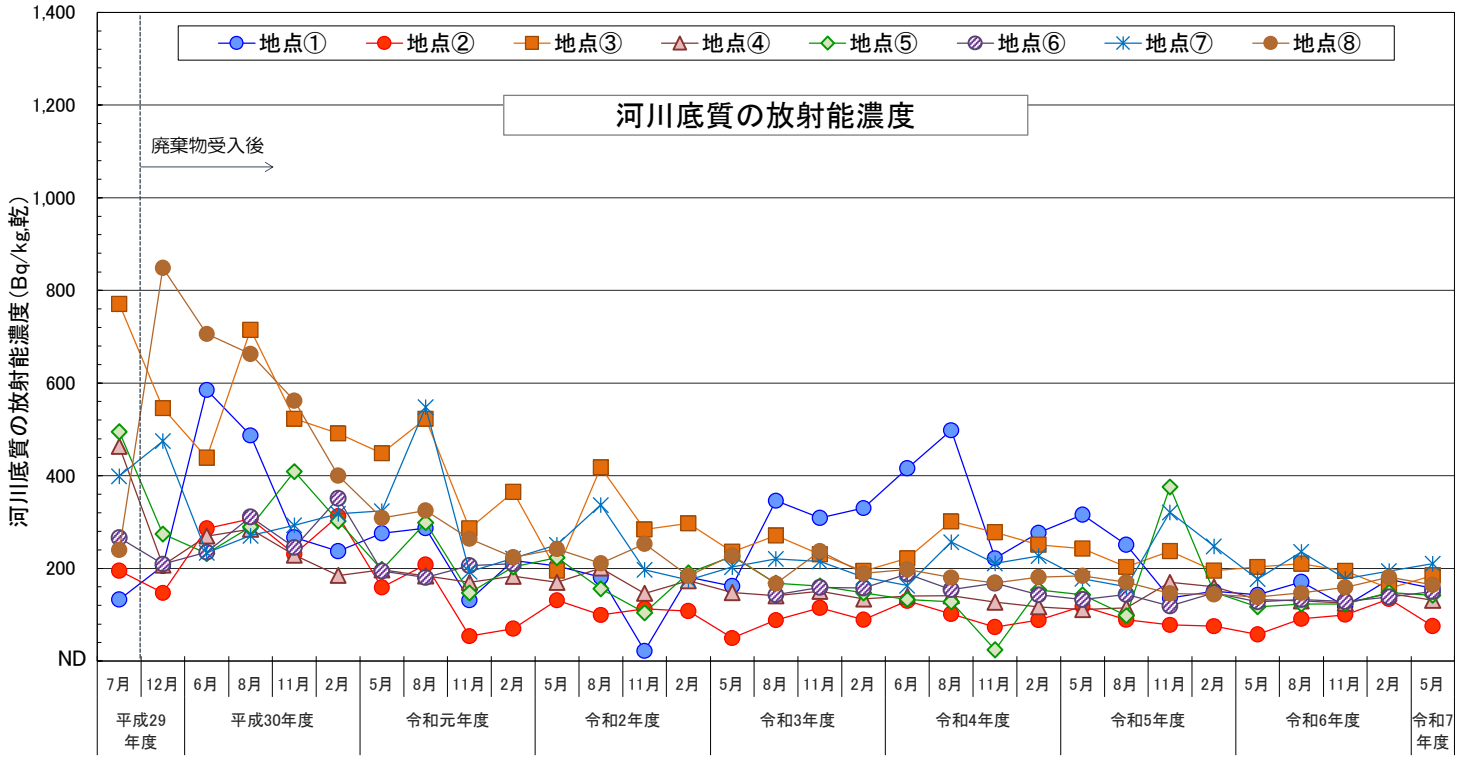
（注）地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

河川底質の放射能濃度（Cs-134,Cs-137）

参考資料１ p.44

調査結果

・令和７年度の調査結果は、概ね過去の値の変動範囲内であった。



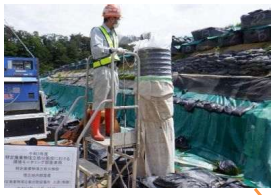
（注）地点⑥は、調査地点及びその周辺の工事により、令和2年5月～令和3年5月の調査を一時中止し、令和3年8月から調査を再開した。

埋立地内部・既設井戸(埋立地外)の孔内温度

参考資料１ p.26,27

調査地点

- 埋立地内部の温度が著しく高温となっていないことを確認するため、埋立地内の竪管内の温度を、地表より鉛直方向1m間隔で測定。令和６年度は２回実施、令和７年度は４回実施。
- 比較対照として、埋立地外の既設井戸の孔内温度も併せて測定。



３ 上流(南側)



２ 上流(中央)



１ 上流(北側)



埋立地外の既設井戸①



埋立地外の既設井戸②



埋立地外の既設井戸③

撮影日：令和7年5月28日



４ 下流(北側)



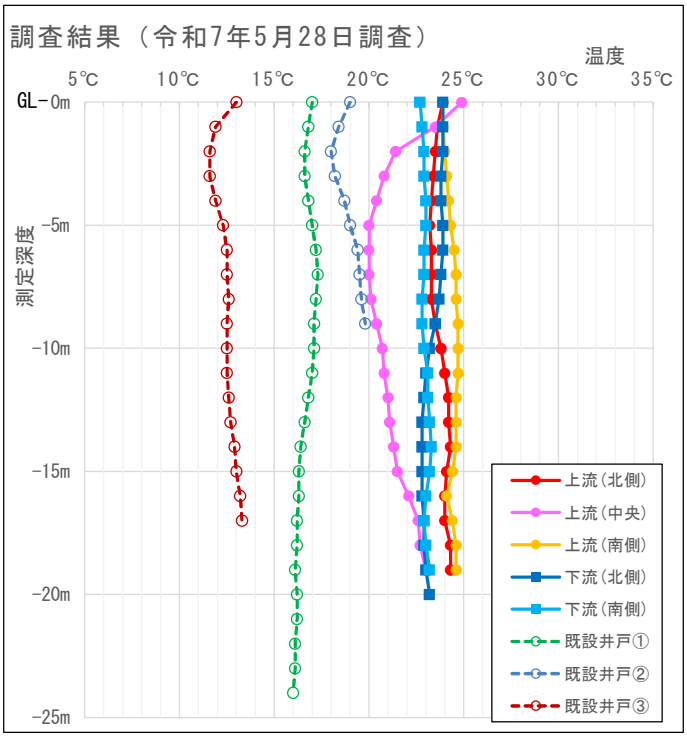
５ 下流(南側)

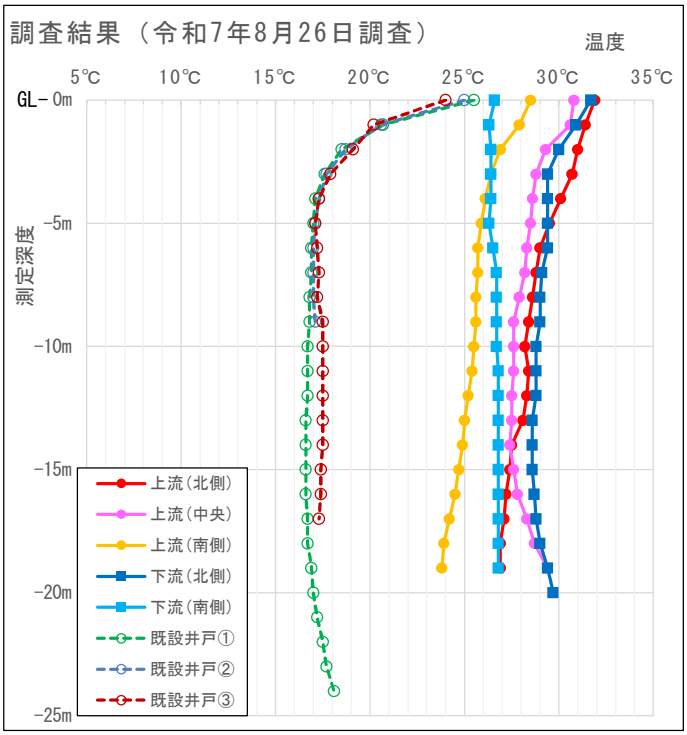
（余 白）

埋立地内部・既設井戸(埋立地外)の孔内温度　参考資料１ p.30,31

調査結果（時期別1/2）

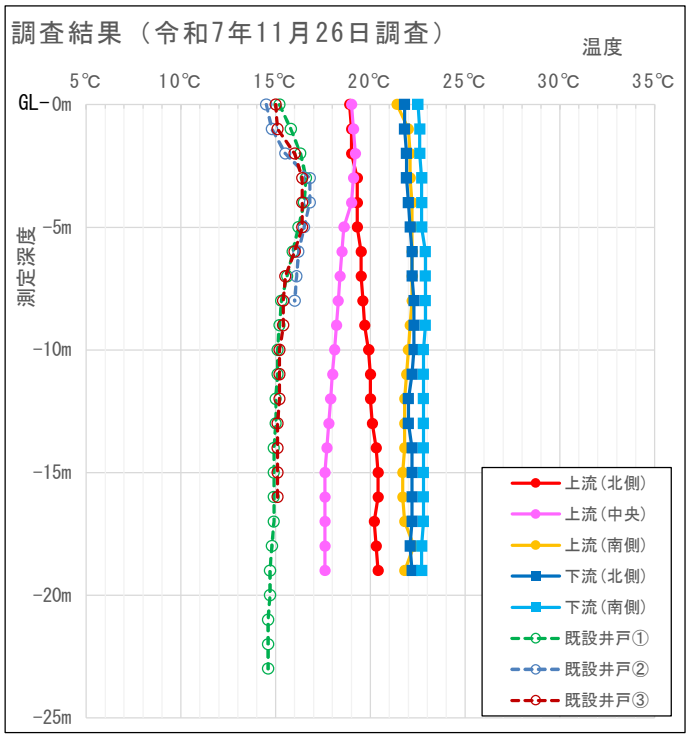
- 埋立地内部（竪管内）の温度は、概ね地表面と同じ温度で推移していた。
- 埋立地外周の既設井戸の孔内温度は、５月調査を除き、15℃～18℃付近に収束している。

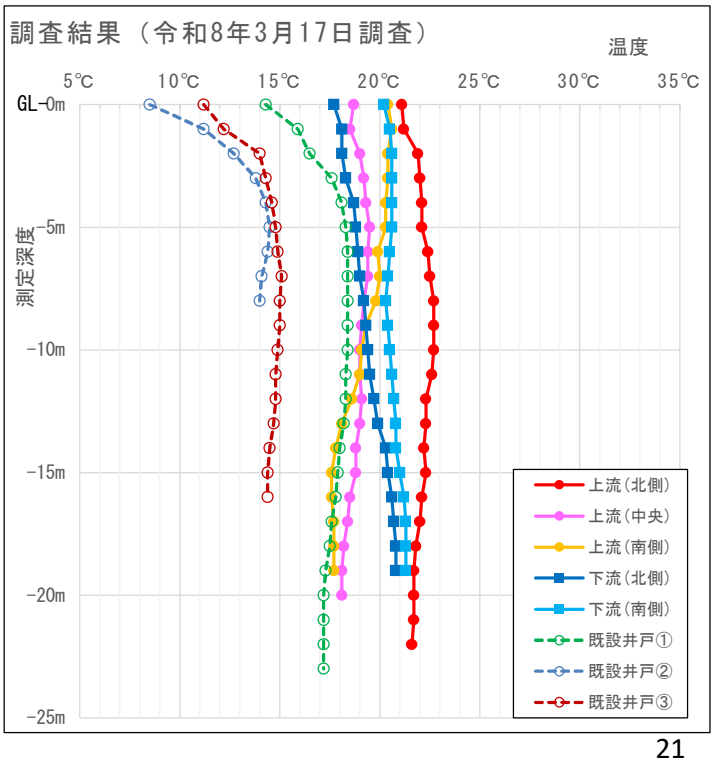




埋立地内部・既設井戸(埋立地外)の孔内温度　参考資料１ p.32,33

調査結果（時期別2/2）





【参考】埋立地内部温度の測定事例

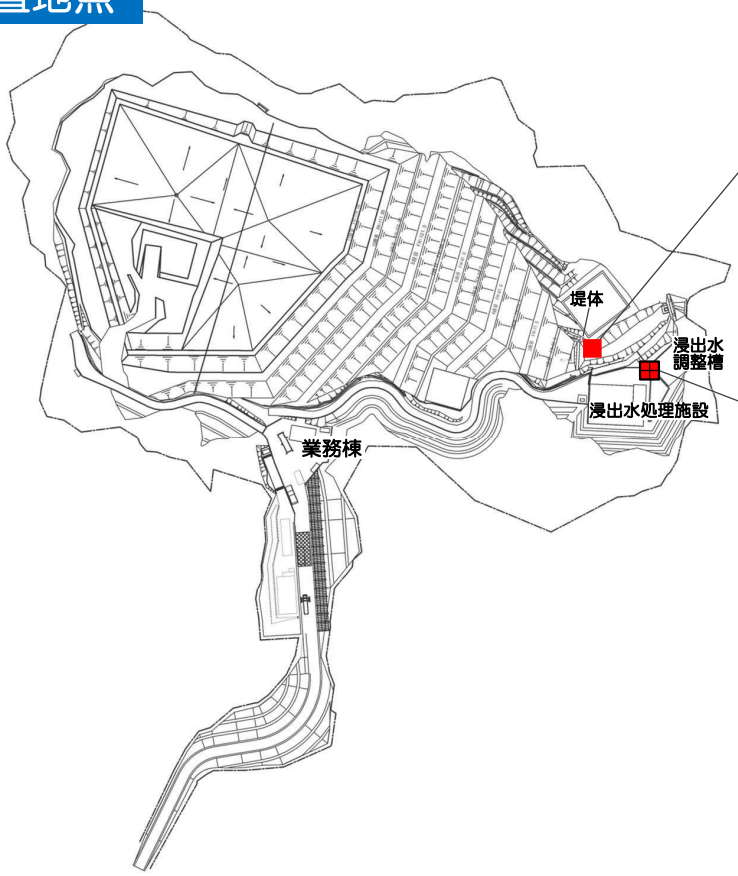
（環境安全委員会の配布資料には、参考として、他施設の測定事例を掲載していましたが、
本施設の測定結果ではないため、削除しています。）

（余 白）

地下水中の放射能濃度（連続測定）

参考資料１ p.45,46

調査地点





地下水採取地点



ユニットハウス



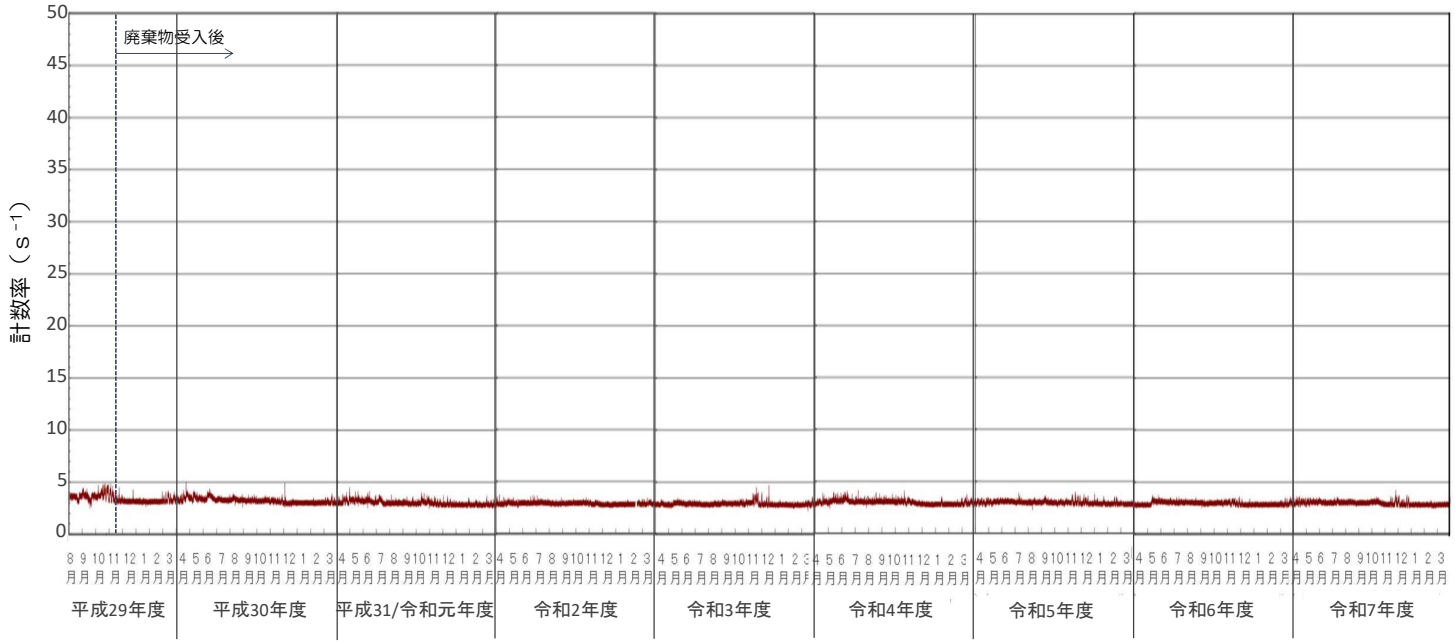
測定装置

地下水中の放射能濃度（連続測定）

参考資料１ p.47

調査結果

- 測定開始以降、一定の値で推移しており、地下水中へ放射性セシウムが移行していないことを示している。Ge半導体検出器でも地下水中の放射性セシウムを測定しており、これまで全てNDである。



※検出値は、検出器（NaI）が周辺環境からのγ線を検出しているもので、地下水中に放射性セシウムの存在を示すものではない。

大気中の放射能濃度（連続測定）

参考資料１ p.48,49

調査地点

※令和4年4月11日以降、移設に伴う一時撤去のため測定を中断したが、令和5年9月26日以降、測定を再開した。





埋立地北側
（ユニットハウス外観）



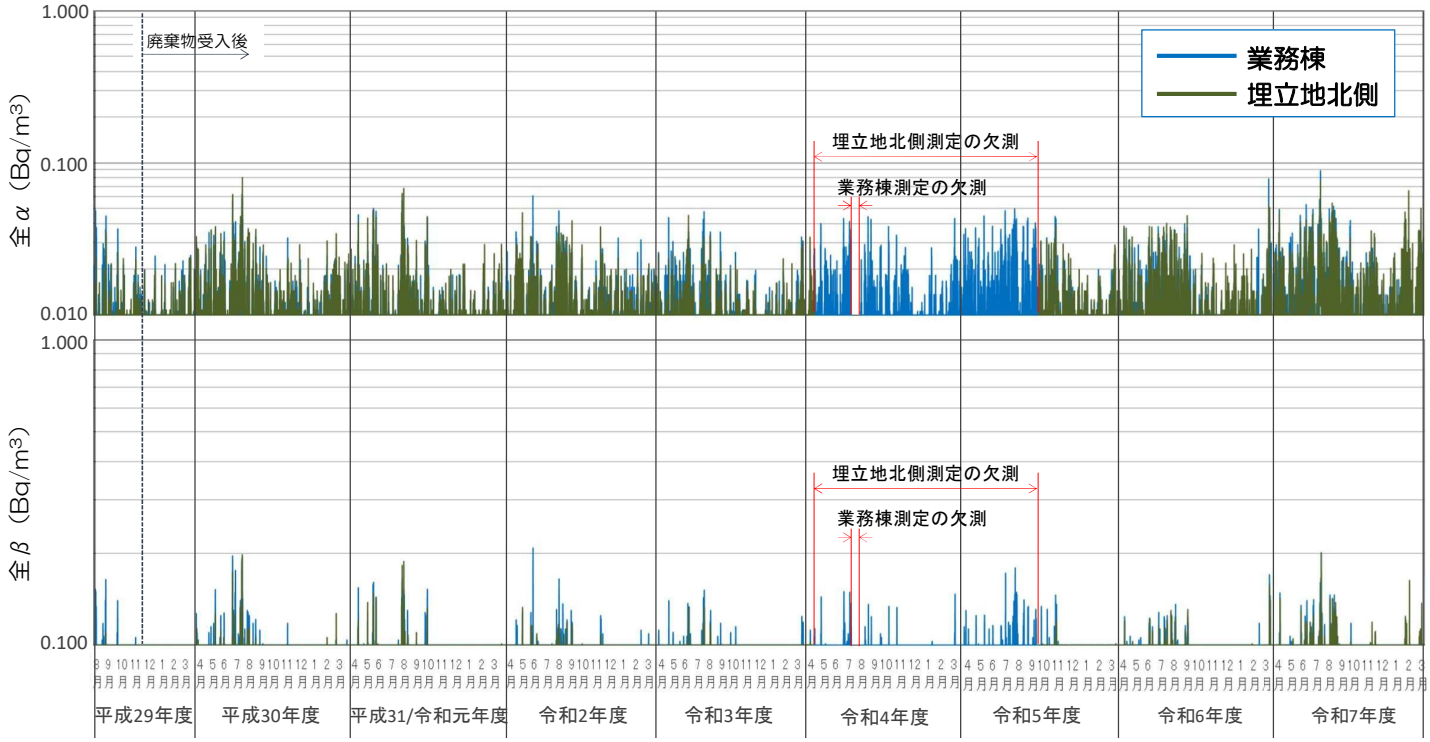
業務棟の測定装置

大気中の放射能濃度（連続測定）

参考資料１ p.50

調査結果

・天然のラドンなどを検出しており、冬と夏の風向きの変化により、夏季に濃度が高く冬季に低くなる季節的な変動を示している。



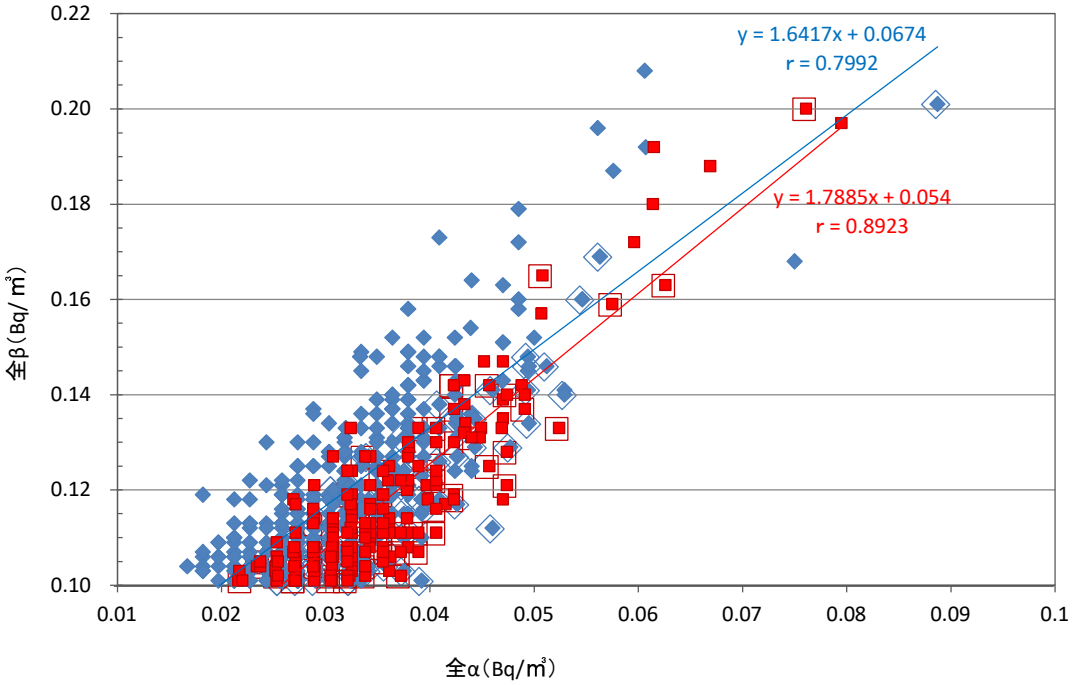
※　埋立地北側測定の令和4年4月11日～令和5年9月25日の期間は、測定機の移設のため測定を一時中断した。
業務棟測定の令和４年7月８日～28日の期間は、集じんポンプ停止のため欠測した。

大気中の放射能濃度（連続測定）

参考資料１ p.49,50関連

調査結果（全α放射能及び全β放射能の相関）

・全βと全αが連動して検出されており、天然のラドン及びラドン崩壊生成物などの影響と考えられる。



◆測定期間
平成29年８月
～令和８年３月

◆データ個数
業務棟　：409個
埋立地北側：183個

※埋立地北側のダストモニタは、令和4年4月11日以降、移設に伴う一時撤去のため測定を中断したが、令和5年9月26日以降、測定を再開した。

◆ 業務棟
■ 埋立地北側

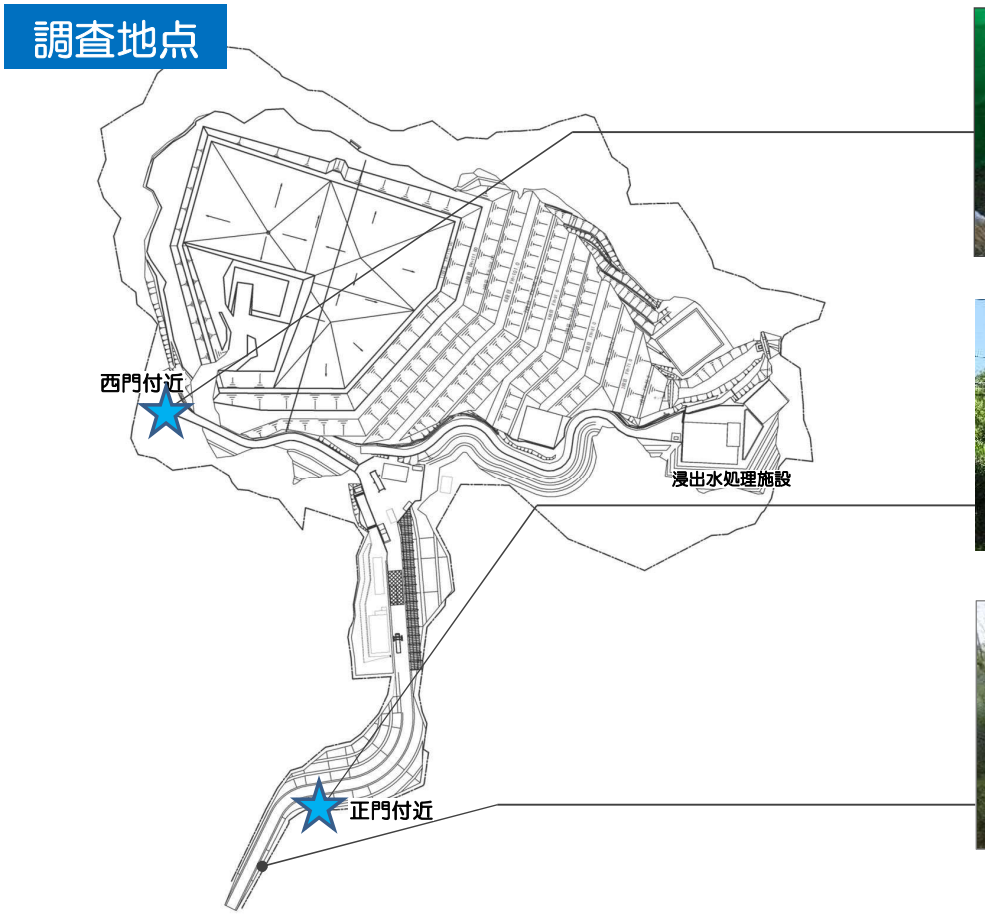
※枠を付したプロットは令和７年４月～令和８年３月のデータ
業務棟　：68個
埋立地北側：71個

（余白）

空間線量率（連続測定）

参考資料１ p.51,52

調査地点





西門付近測定装置



正門付近測定装置



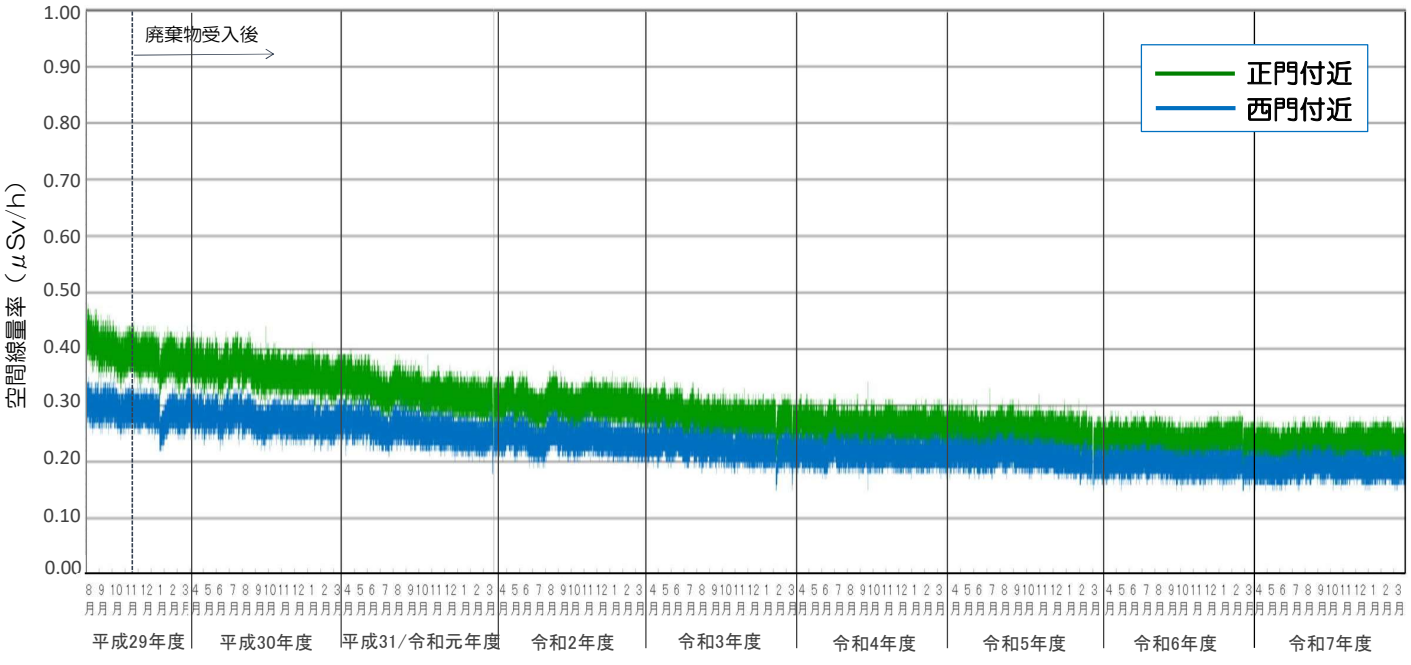
正門付近での表示

空間線量率（連続測定）

参考資料１ p.53

調査結果

・測定開始以降、減少傾向を示している。



（参考）放射能濃度など測定機器の点検記録（令和７年度）

測定	種類	対象	点検日	点検内容（結果）
空間線量率	サーベイメータ※1	分析業者所有①（1台）	2025年3月3日～7日	メーカによる点検校正（合格）
		分析業者所有②（1台）	2025年6月10日～11日	メーカによる点検校正（合格）
	モニタリングポスト※2	正門付近設置（1基）	2025年7月10日	メーカーによる精密点検（合格）
		西門付近設置（1基）	2025年7月10日	メーカーによる精密点検（合格）
放射能濃度	ゲルマニウム半導体検出器※3	分析業者所有①（5台）	2026年1月21日～29日,3月30日～4月1日	メーカによる定期点検（合格）
		分析業者所有②（1台）	2025年6月4～5日	メーカによる定期点検（合格）
	地下水モニタ	防災調整池付近設置（1基）	2025年9月17日	メーカーによる精密点検（合格）
	ダストモニタ	業務棟設置（1基）	2025年12月16日	メーカーによる精密点検（合格）
		埋立地北側設置（1基）	2025年12月17日	メーカーによる精密点検（合格）

※1：サーベイメータは、概ね半年毎に、メーカによる点検校正を行った測定器に交換している。メーカによる点検校正の他、測定日毎に自主点検を行っている。
※2：モニタリングポスト、地下水モニタ及びダストモニタは、環境省所有機器であり、毎年、製造メーカによる保守点検の業務を発注している。
※3：ゲルマニウム半導体検出器は、分析業者において、毎年、製造メーカによる総合点検を行っている。